

アジア・アフリカ支援米「第4回収穫祭」の開催

連合北海道と食・みどり・水を守る道民の会は9月23日、アジア・アフリカ支援米「第4回収穫祭」を空知管内由仁町の藤田農場において開催し、組合員とその家族など49名が参加した。

アジア・アフリカ支援米の取り組みは、これまで食料不足に苦しむマリ共和国などに対し、支援米作付けや茶碗一杯のコメ・カンパ活動などによって進めてきたが、それに加え、食料の重要性や農業体験を通して農業促進の必要性などを感じ取ってもらおうと「稲刈り」体験を実施している。



開会式では主催者を代表して、道民の会齋藤教一副会長が挨拶にたち「今回収穫



した米は、責任をもってマリに送らせてもらう。皆さんも飢餓に苦しむ人達に思いを馳せながら、頑張って収穫作業をしてほしい。」と述べた。



参加者は、協力農家の藤田佳丈さんより作業内容などについて説明を受けた後、自分達が植えた稲を手作業で一株ずつ刈り取っていった。その後、藤田さんが用意してくれた新米のおにぎりなどを囲みながら、懇親を深めた。

この日収穫した支援米は、来年2月にマリに送る予定となっている。